

平成30年度の川部会の活動進捗報告

1. 川部会の目標とテーマ

川部会の活動のテーマと解決手法を以下に示す。

<テーマ>	<解決手法>
<p>テーマ1： 生き物の棲みやすい川づくり（上下流問題） 多様な物理環境と生物生態環境の創出</p>	<p>本川モデル：</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係する取り組み（矢作川総合土砂管理、天然アユ生態調査実行委員会、愛知県の河道保全対策等）における検討状況の把握と意見交換の実施 河川整備対策（河道掘削、樹木伐採等）に対しての事業者との意見交換 <p>家下川モデル：</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係者との積極的な連携、意見交換
<p>テーマ2： 地域の人々と川との関係を中心とした、地先の課題（河川空間の利用・保全のあり方）</p>	<p>地先モデル：</p> <ul style="list-style-type: none"> 「流域圏担い手づくり事例集」作成活動への参加

《3ヶ年の目標》

- これまでの検討をもとに、他地区、他支川へのモデルとなる取組みをとりまとめ、流域圏全体に対して広く情報共有、情報発信していく。
- 具体的な取組み箇所について、継続的なモニタリングと順応的管理を実践する。
- 関係する委員会、自治体、団体と継続的に意見交換することにより、積極的な連携を進めていく。

2. 今年度の活動実績

活動内容	日時	場所	議題
第46回WG (豊田) 16名参加	5月25日(金) 9:00-12:00	豊田市崇化館交流館 第2会議室	○昨年度の川部会の成果と今年度の予定について ○合同部会について ○9年間の活動の成果のまとめと今後の活動の方向性について
第47回WG (豊田) 21名参加	7月27日(金) 13:00-16:00	豊田市崇化館交流館 第2会議室	○矢作川総合土砂管理計画について(国土交通省のとりくみ) ○分散型落差工について(愛知県のとりくみ) ○阿摺ダム下流アユ生息環境改善実験について(豊田市のとりくみ)
第1回合同部会WG (岡崎) 43名参加	8月24日(金) 13:30-17:00	岡崎市宮崎学区市民ホーム	○アサリの漁獲量減少と海の栄養塩に関する研究事例 ○水質浄化に関する最近の研究事例 ○電気伝導率からみた矢作川本川の水質実態と流域構造の特徴 ○矢作川中流域の水質 一水質の長期変動と他河川との比較一 ○植生遷移に伴う水質の変化 一東大演習林における事例一
第48回WG (豊田) 16名参加	10月30日(水) 14:00-16:30	高橋上流～久澄橋下流	○河道掘削施工現場の視察
		豊田市崇化館交流館 第2会議室	○9年間のまとめについて
第49回WG (豊田) 17名参加	12月18日(火) 14:00-17:30	家下川	○家下川ウォーキング
		豊田市崇化館交流館 第1研究室	○9年間のまとめについて
平成30年度まとめの会 (豊田)	1月25日(金) 12:30～14:30	豊田市崇化館交流館 大会議室	・今年度の活動進捗報告 ・次年度の活動計画

※参加人数は事務局含む

3. 川部会平成 30 年度の活動成果 まとめ

本川モデル

- ・国、愛知県、豊田市の各行政機関が矢作川本川で実施している河川整備対策について話題提供をいただき、整備目的・内容や進捗状況について情報共有した。
- ・高橋上流および久澄橋下流で実施されている河道内に堆積した土砂掘削と樹木伐採状況について現地視察を行い、河川環境に配慮した整備のあり方について意見交換を行った。
- ・矢作川の水質をテーマとした山、川、海の合同部会に参画し、大同大学) 吉川さんが矢作川流域の水質（電気伝導度；EC）に関する研究発表を行うとともに、山、海の部会員から発表された各種テーマについて、情報共有と意見交換を行った。



河道掘削箇所の視察



合同部会での吉川さんの発表

家下川モデル

- ・矢作川環境技術研究会) 野田さんのご協力を得て、「家下川 ～ 歩いて観る、診る、体感するエコツアー～」を企画し、部会員で散策した。



家下川エコツアーの開催

地先モデル

- ・流域連携の一環として、昨年度から山部会主体で作成されている「流域再生担い手づくり事例集」の取材活動及びレポート執筆活動に、川部会の有志が参画した。



山部会 WG 作成の事例集紹介

3.1 本川モデルの活動成果

《国交省の河川整備対策に関する意見交換》

- ・矢作川本川で国土交通省が実施した高橋上流～久澄橋下流区間の河道掘削および樹木伐開施工箇所の現地視察を行い、環境への配慮状況について意見交換を行った。
- ・視察当日は、内田座長と愛知工業大学の学生が施工後の河川区間内に生息する底生動物を捕獲し、河床の安定性を示す造網性トビケラの解説をいただいた。



資料：矢作川河道掘削箇所の概要と視察状況

《関係する取り組み（矢作川総合土砂管理、天然アユ生態調査実行委員会、愛知県の河道保全対策等）における検討状況の把握と意見交換》

■国土交通省：矢作川総合土砂管理について

豊橋河川事務所から総合土砂管理計画の概要と現在の進捗状況について説明いただき、情報共有を行った。

- 総合土砂管理計画の策定に向けて、技術的な課題を解決するための課題を整理するとともに、「目指すべき姿」に向けて土砂対策量（排砂量、掘削量など）を一次元河床変動計算や現地実験をふまえて土砂管理対策を検討しています。
- 課題解決に向けた取り組みの一つとして、平成28～29年度に給砂装置（ベルトコンベア）を用いた土砂投入実験を実施しました。

■愛知県：矢作川古巣水制工について

愛知・川の会：近藤朗さんから、愛知県における多自然型川づくりの実施状況について説明いただき、情報共有を行った。

- 愛知県では平成2年から矢作川の環境整備計画の策定に向けた取り組みをはじめ、平成3年には多自然型川づくりの一環として、コンクリートを使わない巨石の水制工を古巣地区に整備しました。
- 愛知県でもアーマコート化した河床環境を改善するための取り組みとして土砂投入実験を実施しましたが、その影響は明瞭にはわからなかった経験があります。

■豊田市矢作川研究所：アユの生息環境改善実験について

矢作川研究所の山本研究員から明摺ダム下流でのアユ生息環境改善実験の概要と結果について説明いただき、情報共有を行った。

- 矢作川では1990年代から急激にアユが釣れなくなってきており、その大きな要因は河床環境のアーマコート化によって、アユがなわばりを形成しなくなったことにあります。
- 阿摺ダムの下流に矢作ダムに堆積した礫を活用して、アーマコート化する前の柔らかな河床を創出し、アユの行動を観察する取り組みを実施しています。
- 観察の結果、実験区間内でアユの生息数が増加し、アユが餌とする付着藻類の生息量も増加しましたが、なわばりを形成するアユは少なく、今後どのような環境条件であればなわばりアユが増加するかを引き続き観察します。

3.2 家下川モデルの活動成果

- ・矢作川環境技術研究会) 野田さんのご協力を得て、「家下川 ～ 歩いて観る、診る、体感するエコツアー～」(末野原～上郷) を開催した。
- ・家下川の川岸を歩き、川の自然、風景を感じながら、川の魅力を知ることができた。また、三面張りのコンクリート護岸、ゴミの不法投棄など生活圏内を流れる河川としての問題点を把握することができた。

※参加者の感想

- 良くも悪くも愛知県の河川改修の典型形式を見ることができ、川と氾濫域、地形的、歴史的なつながりが立体的に理解できた。
- これまで見たことのない家下川の上流区間を見ることができて良かった。
- 今回のような少し歩くことを中心とした体験型の活動を多くした方が良かったと思った。
- 川の状態を見ながら、色々な生物を見ることができてよかった。
- 河川内のごみが多かったことが残念であった。
- 予想以上に水量、水質があったことは良かったと思うが、三面張りの水路は生物にとって良くない環境である。



3.3 地先モデルの活動成果

《流域圏担い手づくり事例集づくりへの参画》

- ・山部会 WG メンバーの洲崎さんが主体となって取り組んでいる「流域圏担い手づくり事例集」作成活動について、昨年に引き続き、川関係の活動団体を取り上げていただくとともに、川部会メンバーの有志が参画した。
- ・取材を進める中で、取材対応者の活動の広がりや取材先同士の有機的なつながりを理解する手助けになっていることがわかった。

		取引先	取材者		
長野県			執筆者		
	飯田市				
		鷺流峡復活プロジェクト	近藤	浜口	曾我部
	根羽村				
		根羽川漁業協同組合	高橋	今村	
愛知県					
		愛知・川の会	吉橋	手塚	太田
	豊田市				
		つくラッセル	神本	宇野	
		正晴会	洲崎		
		伊熊宮農クラブ	野田		
		NPO法人マルベリークラブ中部	沖	高橋	
		すぎん工房	神本	宇野	
		畦道	丹羽		
		三州しし森社中			
		岩本川創遊会	瀬川	近藤	
		豊田土地改良区資料室	清水	安井	
		原田裕保氏	(事務局まとめ)		
	岡崎市				
		奏林舎	太田	手塚	
		間伐こもれび会	沖		
		ウッドデザインパーク	手塚	太田	
		有限会社オフィスマッチングモウル	近藤	高橋	太田
		岡崎市宮崎財産区			
		石原林道協議会			
		ぬかたブランド協議会	浜口	沖	太田
		ぬかた木材製材業組合	浜口		
		おとがワ！ンターランド			
	安城市				
		内藤連三氏	内田	清水	
		安城市矢作川くだり実行委員会	清水	太田	

緑:山、青:川、紫:海に関する団体